

CSAJ 活動 pickup

2019年7月～2019年12月

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

CSAJ 活動 pickup

2019年7月～2019年12月

2019年7月から2019年12月までに行った主な活動を pickup してご紹介します。

本誌では、委員会・研究会活動等のうち、企画・実施したもの、調査・研究を行ったものなどを中心に、事務局の各担当がとりまとめました。なお、委員会・研究会活動の経過内容等については割愛していますが、ご興味・ご関心を持たれた活動ありましたら、ぜひご参画ください。

内容

政策提言・意見交換	2
視察・海外出展・国際交流	4
イベント	9
ビジネスマッチング	12
情報提供セミナー・説明会	14
ニュースリリース	32
報告書	34
実施事業	35
ご案内	38

政策提言・意見交換

2019年8月27日(火)

経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課等と定例意見交換会を実施

2019年8月27日(火)、山王健保会館にて、経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課との定例意見交換会を行いました。今回は、商務・サービスグループサービス政策課からの参加もあり、合計20名で開催されました。(参加/経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課:6名、商務・サービスグループサービス政策課:2名、CSAJ側:12名)

本意見交換会は、定期的にCSAJ幹部(会長・副会長等)と経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課などが情報や課題等を共有することにより、今後の施策策定の一助とすることなどを目的として実施されています。今回経済産業省からは、デジタル時代の新たなIT政策大綱、AI戦略2019、プラットフォームを巡る規制の動向、コネクテッド・インダストリーズ税制などについて説明がありました。CSAJ側からは、次世代AI人材育成訓練プログラム(厚生労働省事業)、就職氷河期への対応について(厚生労働省事業)への提案、IT導入補助金の拡充の要望、データ適正消去実行証明書発行事業、人づくり国民会議開催の要望などについて説明を行い、その後、ざっくばらんな意見交換を実施しました。

2019年8月29日(木)

経済産業省、中小企業庁、軽減税率対策補助金事務局へ軽減税率対策補助金の要件緩和に関する緊急提言を提出

対応レジの購入等に関する契約締結に関して一部の申請類型限定ではなく、すべての申請類型へ要件緩和を拡大する必要があると考え、政策委員会内で確認を行い、2019年8月29日(木)、経済産業省 商務情報政策局、中小企業庁 中小企業庁総務課 中小企業政策統括調整官、軽減税率対策補助金事務局へ緊急提言として提出しました。

2019年8月30日(金)

日本IT団体連盟へ政策要望を提出

人づくり国民会議の創設、銀行法の改正、電子帳簿保存法および関係法令の改正、IT導入補助金の規模拡大と使い勝手の向上、情報セキュリティ教育の義務化、地域交通の利用による多面的効果の検証に係る業務の委託事業(通称:クロスセクター効果検証業務)の実施、日印租税条約の技術上の役務に対する源泉税の撤廃について、政策委員会で要望をとりまとめ、2019年8月30日(金)、日本IT団体連盟へ政策要望として提出しました。

2019年9月12日(木)

経済産業省 商務情報政策局 サービス政策課とIT導入補助金運用に関する意見交換を実施

2019年9月12日(木)、経済産業省会議室にて、IT導入補助金の運用改善等について、CSAJ政策委員会 中小企業IT支援WGメンバーと経済産業省 商務情報政策局 サービス政策課が、意見交換を行いました。(参加:経済産業省2名、CSAJ側13名)

政策提言・意見交換

2019年11月7日(木)

独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA) と定例意見交換会を実施

2019年11月7日(木)、山王健保会館にて、独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA) との定例意見交換会を行いました。(参加: IPA11名、CSAJ側13名)

本意見交換会は、定期的に CSAJ 幹部 (会長・副会長等) と IPA が情報や課題を共有することにより、今後の施策策定の一助とすることなどを目的として実施されています。今回 IPA からは、サイバーセキュリティ対策の強化、地域の IoT ビジネス創出支援、AI 白書 2019 や IT 人材白書 2019、情報セキュリティ白書 2019 の発刊などを含めた「IPA 令和元年度活動方針について」の説明がありました。CSAJ 側からは、人づくり国民会議の必要性、次世代 AI 人材育成事業、iCD の取り組み、PSQ 認証制度の経過報告など最近の活動状況を説明するとともに IPA への要望等について説明があり、その後、意見交換が行われました。

2019年11月19日(火)

財務省 主税局 税制二課とのインボイスに関する意見交換を実施

2019年11月19日(火)、財務省会議室にて、電子インボイスに関する課題 (業務パッケージベンダの課題含む) の説明や中小企業 EDI の活用について、CSAJ 政策委員会 インボイス対応 WG メンバーと財務省主税局 税制二課が、意見交換を行いました。(参加: 財務省4名、CSAJ側5名)

2019年11月22日(金)

総務省へ「電気通信事業分野における競争ルール等の包括的検証 最終答申 (案)」に関する意見書を提出

情報通信審議会 電気通信事業政策部会がとりまとめた「電気通信事業分野における競争ルール等の包括的検証 (平成30年8月23日付け諮問第25号)」最終答申 (案) について、政策委員会で要望をとりまとめ、2019年11月22日(金)、総務省へ意見を提出しました。

2019年12月12日(木)

梶山経済産業大臣と電子・情報・通信関連産業界との懇談会に荻原会長が参加

2019年12月12日(木)、東京プリンスホテルにて、梶山経済産業大臣と電子・情報・通信関連産業界との懇談会が開催され、CSAJ からは、荻原紀男会長、笹岡賢二郎専務理事が参加しました。(参加: 経済産業省14名、業界団体5団体9名)

本懇談会は、経済産業大臣をはじめとした幹部陣 (副大臣、政務官等) と電子・情報・通信関連産業界の5団体 (電子情報技術産業協会/JEITA、情報通信ネットワーク産業協会/CIAJ、ビジネス機械・情報システム産業協会/JBMIA、情報サービス産業協会/JISA、コンピュータソフトウェア協会/CSAJ) の会長、専務理事が参加し、それぞれの団体より、各業界の業況および要望事項等を発表し、意見交換を行う場となっています。CSAJ からは、会員企業数の拡大、デジタル化の推進、将来を担う子供たちのための「人づくり国民会議」の構想、安心・安全な IT 社会の実現のための情報機器等のリユース時における適正なデータ消去の実現、そして DX 推進のための「改正情報処理促進法」の成立、日本版クラウドの構築などの要望について荻原会長から発言があり、その後、各団体の活動・要望に対する意見交換が行われました。

視察・海外出展・国際交流

2019年7月3日(水)

北京市および北京ソフトウェア協会が CSAJ を表敬訪問

2019年7月3日、中国より北京市および北京ソフトウェア協会が CSAJ を表敬訪問され、日中間におけるソフトウェアビジネス拡大に向けた活動の一環として、アジアビジネス研究会メンバーを中心に意見交換等を行いました。(訪日団：北京市国資委、北京市経信局(ビッグデータ産業部長)、北京ソフトウェア協会秘書長ほか、ソフトウェア企業6社 計12名、CSAJ:アジアビジネス研究会吉田主査をはじめとする7社8名および事務局)



2019年7月5日(金)

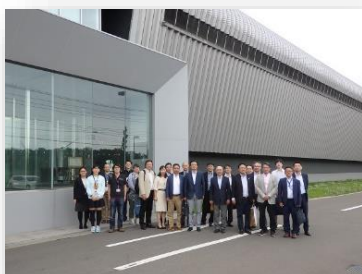
【北海道開催】CSAJ 地域 IoT 推進委員会 in 北海道 石狩データセンター視察

2019年7月5日(金)、一般社団法人北海道情報システム産業協会(HISA)様と協同し、さくらインターネット株式会社「石狩データセンター視察」を開催しました。

石狩データセンターでは、まず、センターの概要と設備、事業概要について、さくらインターネット株式会社技術本部 データセンター運用チームリーダー 兼 石狩 iCD センター長 玉城 智樹 氏よりご紹介頂きました。また、石狩データセンターではいかに効率よく電気を使用しているかについても具体的な数値をご紹介頂きました。

次に、さくらインターネット株式会社 執行役員 技術推進統括 江草 陽太 氏より北海道胆振東部地震の当日~完全復旧までの詳細や地震後に改善した点などについてご講演頂きました。火力発電所の停止に始まった大規模停電により、運用の危機が生じた石狩データセンターにおいて、刻々と変化する状況や石狩データセンターで働く社員とご家族のケア、万が一の場合の完全なシャットダウンを視野に入れた多方面への対応策などについてご紹介頂きました。ご参加の皆様は終始傾聴されていました。

ご講演後は2つのグループに分かれ、石狩データセンター内を視察しました。



視察・海外出展・国際交流

2019年7月12日(金)～13日(土)

エグゼクティブセミナー in 青森 (主催：交流委員会)

2019年7月12日(金)～7月13日(土)の2日間、CSAJ会員の経営者・管理者層を中心とした「エグゼクティブセミナー in 青森～ITが創る・支える・変革する「地方創生」～」が、青森県・国立大学法人弘前大学・青森県観光連盟のご協力をいただき、青森県で開催されました。

当日は濃霧による視界不良のため、一部航空機が目的地を函館へ変更するなどアクシデントがあり、途中参加となった方もおりましたが、CSAJ会長をはじめ39社・団体/48名が参加し、大変盛況な中、無事終了しました。



2019年7月21日(日)～27日(土)

中国視察ツアー (主催：アジアビジネス研究会)

CSAJ アジアビジネス研究会では、昨年引き続き、中国深セン市～四川省成都を巡る中国視察ツアーを実施いたしました。

深センでは、中国ゲーム業界で高いシェアを誇る leiting Games 社、高度な二足歩行ロボットを自社開発する UBTECH Reserch 社、広州伊藤忠商事、深セン市ソフトウェア産業協会を訪問した他、江蘇州南通市において「2019 日中ソフトウェア発展大会」に参加、最後に成都にて中国で3番目の規模を誇る天府ソフトウェアパークを視察しました。

中国視察ツアー報告書

<https://www.csaj.jp/NEWS/committee/asia/20190902.html>



視察・海外出展・国際交流

2019年7月24日(水)

「2019 日中ソフトウェア発展大会」開催

CSAJ では、中国ソフトウェア産業協会 (CSIA) とともに、日中におけるビジネス環境の整備を目的とした「2019 日中ソフトウェア発展大会」を中国江蘇省南通市にて開催しました。中国製造業と日本の IT 企業との共同事業を推進すべく、当日は南通市の市況報告をはじめ、さまざまな施策や今後の展望について講演をいただき、あわせて日中ビジネス環境での協業を模索するビジネスマッチングも実施しました。



2019年8月1日(木)～2日(金)

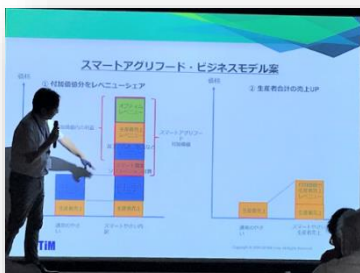
佐賀市スマート農業視察 (主催：農業 ICT 研究会)

CSAJ 農業 ICT 研究会では、株式会社オプティム様、佐賀県有明海漁業協同組合様、佐賀市バイオマス産業推進課様等にご協力いただき、「佐賀市スマート農業視察」を開催しました。

第一次産業における IT・AI 活用事例や、SDGs および効率化のため、エコシステムの構築を目指した佐賀市の取り組みなど、多岐にわたる聴講・視察を行い、13 社・団体/17 名の皆様にご参加いただき、盛況の中終了しました。

視察概要

- (1) 株式会社オプティム社による講演・視察
- (2) 視察：光吉農産におけるドローン飛行
- (3) 懇親会
- (4) 講演：佐賀県有明海漁協組合
- (5) 佐賀市清掃工場 二酸化炭素分離回収設備
- (6) オプティムホーク飛行視察
- (7) 佐賀城本丸歴史館見学



視察・海外出展・国際交流

2019年9月12日(木)

ウクライナ IT 協会が CSAJ を表敬訪問

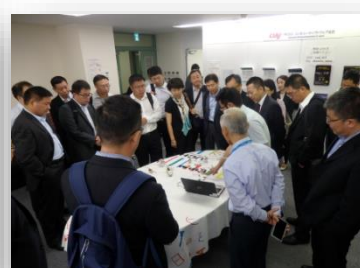
2019年9月12日、ウクライナ IT 協会日本担当および現地 IT スタッフィング会社の Mobilunity 社が CSAJ を表敬訪問され、アジアビジネス研究会メンバーとともに双方のソフトウェア人材を中心とした意見交換等を行いました。



2019年9月24日(火)

中国政府をはじめとする訪日団が CSAJ を表敬訪問

2019年9月24日、中国より工業局局長をはじめとする政府、各省、大学教授等要人による訪日団(計23名)が CSAJ を表敬訪問され、荻原会長、水谷筆頭副会長、和田名誉会長をはじめとする理事およびアジアビジネス研究会メンバーを中心に、日中間におけるソフトウェアビジネス拡大に向けた活動の一環として、双方は CSAJ が展開している事業の内容及び中国に進出を展開している企業の課題等の意見交換等を行いました。



2019年9月26日(木)

VR 活用事例～株式会社フォーラムエイト訪問レポート～

(主催：UX Tech 研究会)

UX Tech 研究会では、VR 技術の活用事例を調査・研究するべく、VR シミュレーションソフト「UC-win/Road」を開発する株式会社フォーラムエイトへ研究会メンバーで訪問させていただきました。

当日は AR・VR ソリューションの最新動向や、自社製品を活用したこれまでの事例紹介、さらに今後のビジネス展望等について、同社執行役員新田純子氏を中心にご説明いただき、その後、同社ショールームにある VR シミュレータを体験いたしました。街づくり、交通、建築物、災害対策等様々な場面で活用されている事例から、実際に活用されているシミュレータなどを体験し、参加者はとても有意義な様子でした。



視察・海外出展・国際交流

2019年10月10日(木)

【金沢開催】地域IoT推進委員会×経営力向上研究会共催 金沢視察ツアー

(共催：地域IoT推進委員会/経営力向上研究会)

経営力向上研究会と共催し、金沢視察ツアーを開催しました。

株式会社PFU ProDeS センター視察及び本社を視察致しました。情報 KIOSK 端末の作成や組み込み機器を生産するProDes センターでは、徹底した品質管理の下、多方面で効率化が図られていました。

ProDeS センター視察後、本社を視察しました。2011年より、徹底した3S活動(整理、整頓、清掃)に着手し、各個人で所有していた文具をグループごとの共同所有へ変更したことにより、在庫管理や整理が簡易化されていきました。また、最後に、最新のイメージスキャナーを複数ご紹介頂き、参加者の皆様からは数多くの質問があがりました。

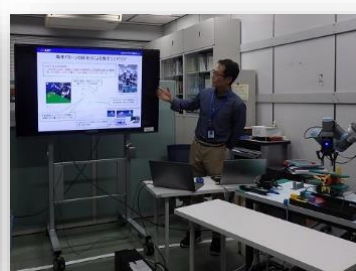


2019年11月15日(金)

国立研究開発法人産業技術総合研究所 視察レポート (主催：技術委員会)

CSAJ 技術委員会では、IT 業界における最新技術動向やアプリケーション開発技術に関する情報配信によって、IT 技術者の成長を触発するための企画を実施しています。

このたび、新技術の動向調査のため、委員会および委員会配下の研究会所属メンバーを対象に、産業技術総合研究所の視察を実施する運びとなりました。



イベント

2019年9月11日(水)

CSAJ 会員交流会 (主催: 交流委員会)

2019年9月11日(水)、恒例の「CSAJ 会員交流会」(交流委員会主催)が、東京港区の「THE LANDMARK SQUARE TOKYO」で、開催されました。

今回も、交流委員会副委員長の村瀬正典理事の司会・進行で、最初に荻原紀男会長による開会のご挨拶・乾杯のご発声で、会はスタートしました。今年は過去最多の172名の皆様にご参加いただき、和やかな雰囲気の中、情報交換やご挨拶、お知り合いのご紹介など活発な交流が行われました。

会の中盤では、会員企業様のご提供による豪華賞品の抽選会で大いに盛り上がりました。

最後は、水谷学筆頭副会長による中締めで、盛況の内に終了しました。



2019年10月15日(火) ~18日(金)

CEATEC 2019 開催報告

2019年、CEATECは20周年のメモリアルイヤーを迎えました。これまでの「CEATEC JAPAN」という名称をグローバルに来場者・出展者が集う場として「CEATEC」に改め、あらゆる産業・業種による「CPS/IoT」と「共創」をテーマとしたビジネス創出のための、人と技術・情報が一堂に会する場とし、経済発展と社会的課題の解決を両立する「超スマート社会(Society 5.0)」の実現を掲げました。

主催3団体(CSAJ、JEITA、CIAJ)特別企画による「Society5.0タウン」では、CSAJから豆蔵ホールディングスグループが出展。IoT等の出展内容から、非常に多くの来場者がブースを訪れました。

- ・ 出展者数 787社/団体 (2018: 725社/団体)
- ・ 出展小間数 2,122小間 (2018: 1,786小間)
- ・ 来場者 144,491名 (2018: 156,063名)



■CSAJ 企画カンファレンス

Mixed Reality・アクセシビリティ最前線 (UX Tech 研究会主催)

https://www.csaj.jp/NEWS/committee/uxtech/191016_ceatecreport.html

- ・ 10/16(水) 「Mixed Reality 最前線~実用化に近づいたMR導入の実態と可能性」 153名/150名定員
- ・ 10/16(水) 「アクセシビリティ最前線 ~マイクロソフトの取り組みと事例紹介」 83名/150名定員

IoT時代の攻撃と防御、PSIRTの重要性が問われるいま! (セキュリティ委員会主催)

- ・ 10/17(木) 「IoT時代のゼロディ攻撃と防御 受け入れ必至“Zero Trust”とは」 111名/150名定員
- ・ 10/17(木) 「IoT時代に必要なPSIRTとその役割」 78名/150名定員
- ・ 10/17(木) 「IoT時代におけるセキュリティ対応態勢のありかた(パネルディスカッション)」 65名/150名定員



イベント

2019年10月20日(日)

Programmer's Day (主催: プログラミング教育委員会/U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会)

2020年からはじまる小学校におけるプログラミング教育必修化を視野に、2019年10月20日(日)、U-22 プログラミング・コンテスト 2019 最終審査会同日に、U-22 プログラミング・コンテスト、全国小中学生プログラミング大会(JJPC)との合同企画として、「Programmer's Day」と題したイベントを併催、大人を対象としたパネルディスカッションとプログラミング経験の少ない小学生を対象としたワークショップなどが行われました。



2019年11月9日(土)

第11回 CSAJ 会長杯親睦会 (主催: 交流委員会)

2019年11月9日(土)、CSAJ 第11回会長杯親睦会(交流委員会主催)が「ゴルフ5 カントリーオークビレッジ」で開催されました。当日、プレー開始時はあいにくの曇り空でしたが、時折のぞく暖かな日差しの中、総勢42名の皆様にご参加いただきました。

今回、荻原会長のご厚意により、テレビ番組やYouTubeでレッスンを行うなど、華々しい活躍をされている竹村真琴プロにもご参加頂き、開会前にはミニレッスンも行われました。

開会式では、最初に荻原会長のご挨拶をいただき、交流委員の小川理事より、今回初参加となる方をご紹介いただいた後、ルール説明が行われました。その後、OUTコース、INコースに分かれて、プレーが開始されました。

皆さま日頃の腕前を競いつつ、ビジネスやプライベートの話などで親睦を深めていました。プレー後は、表彰式と懇親会が行われ、第11回会長杯親睦会は、盛況のうちに終了しました。



イベント

2019年11月26日(火)

第9回 CSAJ 幹部と新入会員との懇親会

(主催：総務委員会)

2019年11月26日(火)、2018年度下半期・2019年度上半期入会企業の皆様と総務委員会メンバーを中心とする幹部陣との第9回 CSAJ 幹部と新入会員との懇親会が「山王健保会館」で開催されました。

当日は、14社/22名の新入会員企業様にご参加いただき、幹部陣含め、総勢35名の参加となり盛況な懇親会になりました。

会は、荻原会長をはじめとした幹部陣の紹介から始まり、荻原会長による乾杯のご挨拶、参加企業様の紹介と各社からの1分スピーチなども行われ、大変和やかな雰囲気の中、田中邦裕副会長の中締めで終了しました。

当日ご参加いただいた新入会企業の皆様は以下の通りです。

株式会社 AS ネットワークセキュリティ
株式会社 アルメディア・ネットワーク
株式会社 エーティーワークス
株式会社 SHP
株式会社 オレンジリンクス
株式会社 グローバルジャパンネットワーク
グローバルセキュリティエキスパート株式会社
株式会社 セック
株式会社 セブン&アイ・ネットメディア
ソーバル株式会社
株式会社 ソフトクリエイティブホールディングス
統合医療アール研究所株式会社
株式会社 ドリームファクトリーワールドワイド
株式会社 Works Human Intelligence



ビジネスマッチング



第 132 回アライアンスビジネス交流会 (主催: 交流委員会)

IT 企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけていただくことを目的とした交流会

開催日時: 2019 年 7 月 23 日 (火)、会場: 山王健保会館会議室

参加実績: 27 社 46 名

プレゼンテーション 1: [六元素情報システム株式会社](#)

製品分類: システム開発テスト自動化ツール

製品名: ATgo 自動テスト RPA

プレゼンテーション 2: [ピー・シー・エー株式会社](#)

製品分類: ビッグデータ業務ソリューション

製品名: KeepData Hub

プレゼンテーション 3: [クワンタム・テクノロジー株式会社](#)

製品分類: 全文検索システム

製品名: 「A-trek」(エートレック)

プレゼンテーション 4: [株式会社コラボスタイル](#)

製品分類: ワークフローシステム

製品名: コラボフロー



第 133 回アライアンスビジネス交流会 (主催: 交流委員会)

IT 企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけていただくことを目的とした交流会

開催日時: 2019 年 10 月 28 日 (火)、会場: 山王健保会館会議室

参加実績: 24 社 34 名

プレゼンテーション 1: [株式会社メディアシーク](#)

製品分類: 各種店舗向けの無人レジソリューション

製品名: かんたん無人レジ

プレゼンテーション 2: [エクスウェア株式会社](#)

製品分類: ・入退室、勤怠管理向け顔認証ソリューション

・お問い合わせ窓口やコールセンター業務向けチャットボット

製品名: ・顔認証ソリューション

・チャットボット TalkQA (トークキューエー)

プレゼンテーション 3: [株式会社 MC セキュリティ](#)

製品分類: 高性能デスクトップ不正侵入防御システム[IPS]

製品名: NetStable

プレゼンテーション 4: [株式会社 SPJ](#)

製品分類: AI (自然言語処理) エンジン

製品名: Neurox (ニューロックス)



ビジネスマッチング



CSAJ/JIET/JASPA/IVIA 共催 ビジネスマッチング商談会

(主催：交流委員会)

2019年10月30日(水)、一般社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)、全国ソフトウェア協同組合連合(JASPA)、特定非営利活動法人日本情報技術取引所(JIET)、一般社団法人IT検証産業協会(IVIA)の4団体共催によるビジネスマッチング商談会が山王健保会館で開催され、100名を超える来場者で盛況な会となりました。

開催日時：2019年10月30日(水) 会場：山王健保会館 会議室

参加実績：114名



情報提供セミナー・説明会

総務

第4回ワークショップ、講演『しくじり先生「俺みたいになるな。」』

(主催：プロジェクトみらい(仮))

開催日：2019年7月17日(水)、会場：CSAJ会議室、参加実績：29名

ワーク概要：アート鑑賞を通し、観察力、思考力を働かせる「ヴィジュアル・シンキング・ストラテジーズ(VTS)」を行い、自己理解と他者理解を深める。

タイトル：『しくじり先生「俺みたいになるな。」』

講演者：荻原 紀男 氏

(株式会社豆蔵ホールディングス 代表取締役会長 兼 社長 /CSAJ 会長)

講演概略：生い立ちや周りの環境、学生時代、恋愛、友情、出会いと別れ、これまで荻原氏が経験してきた劇的な人生や、今の想いについて紹介。



第5回ワークショップ、講演『チームのことだけ考えたら、未来が見えてきた』

(主催：プロジェクトみらい(仮))

開催日：2019年9月27日(金)、会場：FUKURACIA品川(高輪口)、参加実績：23名

ワーク概要：ビジネス面・チーム(組織)面において、現在メンバーが抱えている課題の解決策をディスカッション。

タイトル：『チームのことだけ考えたら、未来が見えてきた』

講演者：青野 慶久 氏(サイボウズ株式会社 代表取締役社長/CSAJ 副会長)

講演概略：なぜチームなのか。多様性を認め、個人を活かしながら、チームワークを形成していくことの大事さや、青野氏が抱くクラウドに対する熱い思いについて紹介。



第6回ワークショップ、講演『やりたいことをできるに変える』

(主催：プロジェクトみらい(仮))

開催日：2019年11月19日(金)、会場：大日本住友製薬株式会社、参加実績：24名

タイトル：『やりたいことをできるに変える～変容する社会の中で～』

講演者：田中 邦裕 氏(さくらインターネット株式会社 代表取締役社長 /CSAJ 副会長/プロジェクトみらい(仮) リーダー)

講演概略：多様性とは何か。形式ではなく本質を見極めることの重要性。余白から生まれるものとは。「どうあるべきか」ではなく「どうありたいか」を考察。

ワーク概要：IT業界、製薬業界の現状や課題、差異を知り、IT×薬業からどういう社会を目指せるか、目指したいのか。また、今後どのように変容していけるのかをディスカッション。



情報提供セミナー・説明会

政策

『働き方改革』に使える助成金セミナー～人が集まる辞めない会社に・・・～

(共催：助成金等活用研究会・働き方改革研究会)

開催日：2019年9月4日(水)、会場：CSAJ会議室、参加実績：12社13名

タイトル1：働き方改革に使える助成金～人が集まる辞めない会社に・・・～

講演者：工藤 一樹氏 (ピースフル社会保険労務士事務所 代表)

講演概略：企業を取り巻く現状と課題、助成金の共通要件・注意事項や最近の特徴など具体的に解説。

タイトル2：知らないと損する！～最小のリスクで最大の効果を上げる助成金・補助金活用術～

講演者：前田 啓佑氏 (株式会社ナビット コーポレート事業部 部長)

講演概略：助成金・補助金の違いや、助成金・補助金の事例を挙げて解説。



第33回 経営力向上セミナー (共催：経営力向上研究会・働き方改革研究会)

開催日：2019年9月18日(水)、会場：山王健保会館、参加実績：38社48名

タイトル：ラグビーに学ぶ 勝ち残るためのチームワークとリーダーシップ
～今こそ、ラグビー精神と感性教育を～

講演者：林 敏之氏 (元ラグビー日本代表 NPO 法人ヒーローズ 理事長)

講演概略：ラグビーとは / 私のラグビー体験 / いま感性はカ / リーダーの条件 / 人間組織にとって大切なもの / 湧き上がるものを求めて / One For All All For One / 皆が自らの人生のヒーローに、
をテーマに力説。



情報提供セミナー・説明会

政策

2019年度の補助金・助成金のまとめと2020年度の補助金・助成金の展望と予測

(主催：助成金等活用研究会)

開催日：2019年12月4日(水)、会場：CSAJ会議室、参加実績：22社23名

タイトル1：2019年度の補助金・助成金のまとめと2020年度の補助金・助成金の展望と予測

講演者：三橋心氏(中小企業診断士 事業再生マネージャー)

講演概略：今年の公募状況から2020年度の展望と傾向に加え、具体的な申請のポイントについて説明。

タイトル2：2019年トレンドの助成金のご紹介

講演者：前田啓佑氏(株式会社ナビット コーポレート事業部 部長)

講演概略：働き方改革で使える助成金や個人向けに使える助成金など、いくつかの事例を挙げて説明。



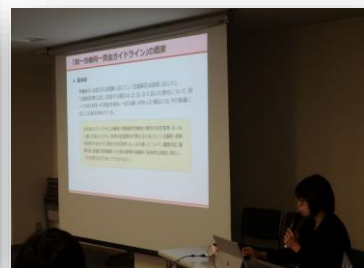
同一労働同一賃金対策の実務 (主催：働き方改革研究会)

開催日：2019年12月9日(月)、会場：CSAJ会議室、参加実績：31社39名

タイトル：同一労働同一賃金対策の実務～中小企業も今から準備を！～

講演者：小澤薫氏(社会保険労務士法人ヒューマン・プライム 代表社員)

講演概略：同一労働同一賃金に関する法制度・ガイドラインや、最新裁判例をもとに、基本給や各種手当、福利厚生等の具体的対応、労働者派遣に関する同一労働同一賃金のしくみについて解説。



第33回座談会 (主催：法務・知財委員会)

開催日：2019年9月27日(金)、会場：CSAJ会議室、参加実績：11社15名

タイトル1：『IT企業経営者の事業承継』

講演者：渡邊慎祐氏(株式会社三菱UFJ銀行 資本戦略推進室)

講演概略：上場・非上場企業の事業承継について、親族への承継(相続・贈与対策)、MBO(マネジメント・バイアウト)による従業員等への承継、M&Aによる会社売却、事業承継税制の活用など、実際の事例を交えて説明。

タイトル2：『最近の法務知財の旬な話題について(民法改正全体を説明)』

講演者：山口峻氏、辻井敦氏(いずれもブレークモア法律事務所 弁護士)

講演概略：民法改正について説明を行うとともに、法務知財の法改正動向等について、新しいトピックと引き続き注目すべきトピックを紹介。

情報提供セミナー・説明会

法務・知財

第34回座談会 (主催：法務・知財委員会)

開催日：2019年12月16日(月)、会場：CSAJ会議室、参加実績：17社21名

タイトル1：『メンタルヘルスと労務管理』

講演者：西川 あゆみ 氏 (WorkWay 株式会社 取締役会長/COO)

講演者：末 啓一郎 氏 (ブレイクモア法律事務所 弁護士)

講演概略：法制化されているストレスチェック制度が推奨する職業性簡易ストレス調査票で測定できる項目を整理して、人事政策に織り込み他社の事例等を説明。

タイトル2：『パワハラ「該当しない例」示す厚労省指針素案について』

講演者：辻井 敦 氏 (ブレイクモア法律事務所 弁護士)

概講演略：パワハラに関する厚生労働省指針素案の概要について解説。

タイトル3：『個人情報改正の方向性について』

講演者：杉原 佳秀 氏 (Netflix 株式会社/CSAJ 理事、法務・知財副委員長)

概講演略：個人情報改正の方向性や動向について解説。

人材

生産性向上支援訓練第1弾 「成果を上げる業務改善」～社内業務の課題分析により”結果を出す”組織を目指す～ (主催：人材育成研究会)

開催日：2019年7月11日(木)～12日(金)、会場：CSAJ会議室、参加実績：8社10名

講師：木本 幹則 氏 (株式会社ウチダ人材開発センタ 講師)

講演概略：各社の抱える課題を解決し、業務の効率化、結果を出す組織を目指す研修を実施。

「科学で考える採用革新」セミナー (主催：人材委員会)

開催日：2019年7月24日(水)、会場：CSAJ会議室、参加実績：33社37名

講演：「科学で考える採用革新」

講師：服部 泰宏 氏 (神戸大学大学院 経営学研究科准教授)

講演概略：日本企業の中で起こりつつある「採用革新」について、定量データや先端企業の事例などを交えながら紹介。また、優秀な人材を採用する方法とその考え方を、参加者と議論。



生産性向上支援訓練第2弾 「提案型営業実践」～顧客満足をあげてより良い成果を出す～ (主催：人材育成研究会)

開催日：2019年8月6日(火)～7日(水)、会場：CSAJ会議室、参加実績：13社21名

講師：高橋 光久 氏 (株式会社サートプロ 講師)

講演概略：顧客の課題・要望など、顧客の立場に合わせた提案を行い、顧客満足をアップさせることで、自社・自身の成果を上げることを目的とした研修を実施。

情報提供セミナー・説明会

人材

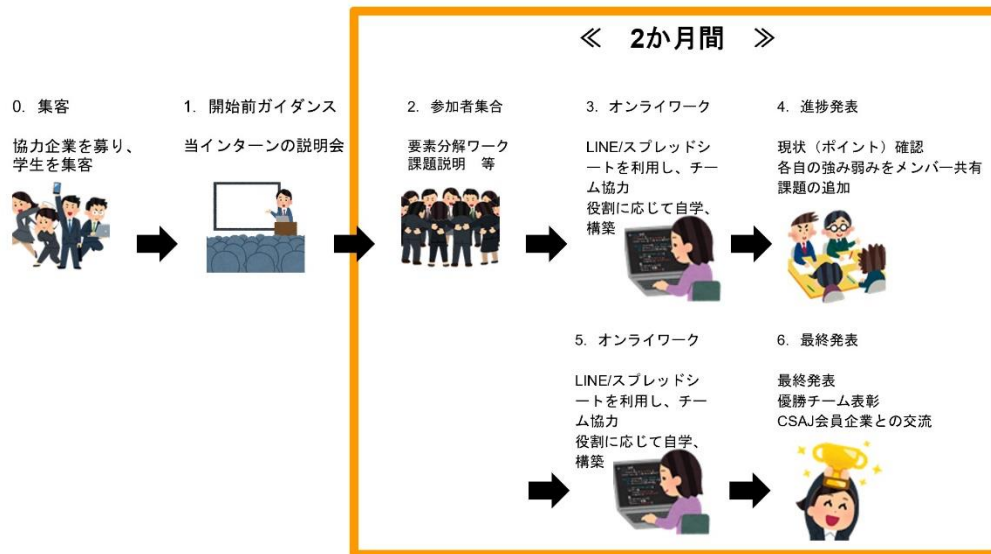
「21世紀型スキルを身につけるPBL」を核としたインターンシップとして 「プロジェクトZ」を実施 (主催：インターンシップ採用研究会)

実施期間：2019年6月～8月

参加学生：3名

最終報告会：2019年8月6日(火)

企画概略：与えられた課題に対して、メンバー同士の多様性を尊重したチームビルディングとオンラインでのやり取りを通じて、2か月間で解決策のプロトタイプを作りあげることで、将来「働く」時の仕事の進め方について体験。



第2回『デジタルトランスフォーメーション(DX)を考える』セミナー

(主催：人材育成研究会)

開催日：2019年8月21日(水)、会場：CSAJ会議室、参加実績：28社34名

タイトル：『デジタルトランスフォーメーション(DX)を考える
～事例から考察する企業でDXを起こすためのポイント～』

講演者：高橋 範光 氏 (株式会社チェンジ 執行役員)

講演概略：デジタルトランスフォーメーションの概要や世の中にもたらす影響、事例から企業がDXを起こすために考慮すべき点、DX人材を育成するためのヒントについて解説。



情報提供セミナー・説明会

人材

業務を見える化する人材スキル標準 iCD (i コンピテンシ ディクショナリ) って何？

iCD の活用を体験してみませんか？「iCD 事例体験セミナー」 (主催：iCD 研究会)

開催日：2019年8月27日(火)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：7社8名

講師：土田 修氏 (ネクストウェア株式会社)、井上 淳氏 (株式会社 IP イノベーションズ)、木田 徳彦氏 (株式会社インフォテック・サーブ CSAJ 理事 人材委員会 副委員長/iCD 研究会 主査)

講演概略：iCD をすでに活用されている企業様の事例もご紹介しながら、実際に iCD の活用を模擬体験し、結果を踏まえて、講師が解説。最後に、講師から参加者に、社内での iCD 導入を検討し、具体的な活用方法を理解すべく、iCD 活用ワークショップへの参加を推薦。

「OJL (On the Job Learning) 導入の効用」～iCD と MBO (目標管理) ・ TM (Talent Management) ～ (主催：iCD 研究会)

開催日：2019年9月17日(火)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：20社25名

講師：木村 利明氏 (株式会社教育エンジニアリング研究所 代表取締役 / 一般社団法人 IT 人材育成協会理事)

講演概略：人材育成や社員教育の手法として、これまでの OJT (On the Job Training) に代わり、業務の問題や課題を共有し、継続的に教え合いや学び合いを実施することで、個人と組織の成長を促す OJL について講演。



生産性向上支援訓練第3弾「現場社員のための組織行動力向上」～新たな価値・ビジネスが生まれやすい職場づくりに向けて～ (主催：人材育成研究会主催)

開催日：2019年9月25日(水)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：11社16名

講師：志村 智子氏 (株式会社インフォテック・サーブ)

講演概略：企業の仕組みや、業界の背景について理解を深め、経営者の視点を理解し、上司の補佐や後輩の育成を行い、ビジネス感覚を養うことにより、自ら主体的に社内の問題発見、業務改善を現場から発信するために必要な知識、技能を習得することを目的とした研修。

情報提供セミナー・説明会

人材

第3回『次世代を切り拓く グローバル人材育成の最前線』セミナー

(主催：人材育成研究会)

開催日：2019年10月9日(水)、会場：CSAJ会議室、参加実績：21社23名

タイトル：『次世代を切り拓く グローバル人材育成の最前線』

講演者：浦山 昌志氏(株式会社IPイノベーションズ 代表取締役)

講演概略：グローバル=多様な価値観を受容できる人であるとの考えのもと、既存概念を打破することによる、これからのキャリア開発の方向性と可能性について解説。



生産性向上支援訓練第4弾「プロジェクト管理技法の向上」～ウォーターフォールとアジャイル 開発タイプから学ぶマネジメント術～ (主催：人材育成研究会)

開催日：2019年11月7日(木)、会場：CSAJ会議室、参加実績：9社28名

講師：志村 智子氏(株式会社インフォテック・サーブ)

講演概略：プロジェクトタイプを再考し、的確な業務指示を行うとともに人材を育成する、「型」に固執しないプロジェクト管理とマネジメントの習得を目的とした研修を実施。

iCDを活用したイノベーション人材 (主催：iCD研究会)

開催日：2019年11月20日(水)、会場：CSAJ会議室、参加実績：7社11名

講師：志村 智子氏(株式会社インフォテック・サーブ)

講演概略：視点を変えることが新たな価値を創造するとして、試行錯誤できる組織風土の重要性を説明。更に、自社独自のイノベーション人材を育成するために、解決すべき課題がどのプロセス、カテゴリにあるかを選別し、解決策策定の為の流れに沿ってiCDタスクを選択、フレームを構築するという考え方を展開。



業務に見える化する人材スキル標準 iCD (i コンピテンシ ディクショナリ) って何？

iCDの活用を体験してみませんか？「iCD事例体験セミナー」 (主催：iCD研究会)

開催日：2019年11月27日(水)、会場：CSAJ会議室、参加実績：6社8名

講師：木田 徳彦氏(株式会社インフォテック・サーブ CSAJ理事 人材委員会 副委員長/iCD研究会 主査)、井上 淳氏(株式会社IPイノベーションズ)

講演概略：iCDをすでに活用されている企業様の事例をご紹介後、実際にiCDを活用して、参加者の企業に実在する社員の業務遂行能力を可視化し、ヒートマップを作成することを模擬体験。

最後に、講師から参加者の皆様に、社内でのiCD導入をご検討し、具体的な活用方法を理解すべく、iCD活用ワークショップへの参加を推薦。



情報提供セミナー・説明会

人材

パネルディスカッション～健康経営トラの巻教えます！ (主催：健康経営推進研究会)

開催日：2019年12月10日(火) 15:00～17:00、会場：CSAJ会議室、参加実績：9社18名

パネリスト：河村 朋子氏 (インヴェンティット株式会社 管理部マネージャー)

齋藤 幸子氏 (株式会社シー・シー・ダブル 管理本部)

小村 明子氏 (創研情報株式会社 業務推進部)

鎌田 佳宏氏 (東京システムハウス株式会社 総務部 課長)

モデレータ：砂田 剛氏 (健康経営推進研究会主査、株式会社ファーストステージ 代表取締役)

講演概略：当研究会のメンバーの中から、すでに「健康企業宣言」「銀の認定」等を取得した企業から、まさに現在進めようとしている企業まで、4名のパネラーをお招きし、取り組みに関する課題や対応について、パネルディスカッションを開催し、活発な議論と質疑応答を実施。



第4回『宇宙人材とDX～イノベーション人材は育成できるのか?～』セミナー

(主催：人材育成研究会)

開催日：2019年12月12日(木)、会場：CSAJ会議室、参加実績：19社24名

タイトル：『宇宙人材とDX～イノベーション人材は育成できるのか?～』

講演者：白澤 秀剛氏 (東海大学 情報教育センター)

講演概略：失敗を恐れず挑戦すること、高い信頼性で確実に成功すること。どちらも両立することを求められる宇宙人材のような人材を実際に育成できるのか。人材が不足している現状でイノベーション人材を育成する重要さや、自己効力感、自動思考が実行力へ与える影響の強さなどについて解説。



情報提供セミナー・説明会

国際

グローバルビジネスに向けて～北欧、ミャンマー、中国の現状～ (主催：国際委員会)

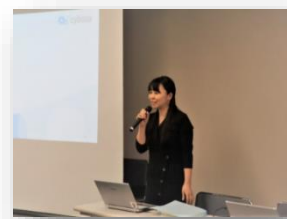
- 開催日：2019年9月3日(火)、会場：CSAJ会議室、参加実績：24社33名
タイトル：『グローバルビジネスに向けて～北欧、ミャンマー、中国の現状～』
講演者1：酒本 健太郎 氏 (サイボウズ株式会社 グローバル事業本部)
講演概略：北欧・東南アジアについて、働き方の考えや制度、風土についての日本やサイボウズとの共通や差分を中心に、サイボウズの海外展開で、今回は東南アジアのマーケティング戦略の説明。
講演者2：辰巳 徳朗 氏 (株式会社ユニバーサルコンピューターシステム 執行役員)
武藤 秀仁 氏 (UCS Myanmar Co.,Ltd. Managing Director)
講演概略：ミャンマーの基本情報、ICT市場規模・成長予測、ティラワ工業団地を中心とした日本企業進出の最新情報と弊社が進出してから5年間の現地ビジネス活動事例の紹介。
講演者3：吉田 一也 氏 (株式会社アスペックス 代表取締役社長、アジアビジネス研究会主査)
講演概略：CSAJ アジアビジネス研究会が主催した日本では知られていない大手ゲーム会社や、広州伊藤忠商事、深セン市ソフトウェア産業協会の中国視察ツアーの結果、および中国ソフトウェア産業協会とともに開催した「日中ソフトウェア産業懇談会」の内容について報告。



グローバルビジネスに向けて～中国サイバーセキュリティ法/欧州 GDPR/アリババ

～ (主催：国際委員会)

- 開催日：2019年12月3日(火)、会場：CSAJ会議室
参加実績：23社32名
タイトル1：中国サイバーセキュリティ法要点解説
講演者：戸田 一成 氏 (弁護士法人GVA法律事務所 弁護士)
李 昱昊 氏 (弁護士法人GVA法律事務所 中国律師)
講演概略：中国サイバーセキュリティ法制定の背景、立法目的、全体像について説明していただき、また、当法の規制対象事業者、規制に関する義務、罰則及び業種別留意するポイントについても例を交えて紹介。
タイトル2：ミニマムからスタート！サイボウズのGDPR対応
講演者：我妻 未沙子 氏 (サイボウズ株式会社 法務統制本部部長)
講演概略：GDPRのRegulationについて簡単な説明の後、我妻様よりサイボウズ株式会社のGDPR対応に関する内容を時系列で説明。また、具体的にどのタイミングで、どの部門と、どんな社内ステップで進めたのか、苦労したところはどこか、企業法務が提供する価値と、そのプロダクトにおいて大事にしたポイント等、リアルな試行錯誤ストーリーを説明。
タイトル3：Alibaba Cloudの「年次カンファレンス」および「独身の日」の報告
講演者：寺尾 英作 氏 (SBクラウド株式会社 Alibaba Cloud ソリューションアーキテクト)
講演概略：今年阿里巴巴(アリババ)の本社がある杭州で開催されたApsara Conferenceに実際に参加してきた体験を踏まえ説明。また、毎年11月11日に行われ、流通総額等新しい記録を塗り替え続けている独身の日セールという世界最大級のショッピングイベントについてのイベントレポートも併せて説明。



情報提供セミナー・説明会

技術

2020年のITロードマップ～デジタル技術をいつ・どのように使うべきか～ (主催：技術委員会)

開催日：2019年7月5日(金)、会場：CSAJ会議室

参加実績：30社39名

タイトル：『2020年のITロードマップ～デジタル技術をいつ・どのように使うべきか～』

講演者：城田真琴氏(株式会社野村総合研究所)

講演概略：2019年～20年にかけて重要性が増すと予想される技術・ビジネスの動向について、5G、ローコード開発プラットフォーム、データサイエンス・プラットフォームの3つの技術に焦点を当て、事例などを交えて紹介。



第36回失敗しないAI導入手法～AI導入・活用を目指す企業が取り組むべきこと～ (主催：人工知能(AI)技術研究会)

開催日：2019年7月29日(月)

会場：CSAJ会議室、センターフィールド株式会社(ライブ配信)

参加実績：32社29名

タイトル：『失敗しないAI導入手法～AI導入・活用を目指す企業が取り組むべきこと～』

講演者：マスクド・アナライズ氏(イキリデータサイエンティスト)

講演概略：AIにおける導入と活用事例が増える中で、同時に失敗や過大評価といった話題も増加。トレンドサイクルの幻滅期に突入する中でAIの特徴や活用法、AIを使う側が実行すべき施策を学びながら、自社に最適な取り組みをワークショップ形式で実施。



第37回AI先進国中国のAIトレンド・活用事例～中国は何故AI活用が進むのか～ (主催：人工知能(AI)技術研究会)

開催日：2019年9月6日(金)

会場：CSAJ会議室、センターフィールド株式会社(ライブ配信)

参加実績：27社29名

タイトル：『AI先進国中国のAIトレンド・活用事例～中国は何故AI活用が進むのか～』

講演者：國本知里氏

講演概略：中国最新AI事例を紹介しつつ、なぜ中国のAIは活用が進むのか、AI後進国と言われる日本は何を学ぶべきか説明。



情報提供セミナー・説明会

技術

第38回「機械翻訳の現状と未来」(主催:人工知能(AI)技術研究会)

開催日:2019年10月23日(水)、会場:CSAJ会議室

参加実績:22社25名

タイトル:『機械翻訳の現状と未来』

講演者:栄藤 稔氏(株式会社みらい翻訳 代表取締役)

講演概略:みらい翻訳における技術開発の行程と技術進展の予想を解説。



第39回失敗しないAI導入手法～AI導入・活用を目指す企業が取り組むべきこ

と～(主催:人工知能(AI)技術研究会、次世代AI人材育成訓練プログラム検討委員会)

開催日:2019年11月6日(水)、会場:TKP赤坂駅カンファレンスセンター ホール13C

参加実績:47社56名

タイトル:『失敗しないAI導入手法～AI導入・活用を目指す企業が取り組むべきこと～』

講演者:田中 潤氏(Shannon Lab 株式会社 代表取締役)

講演概略:第三次ブームと言われているAIの現状、AI導入で個々の企業や公共団体等は何を目指すのか、AI導入を失敗しないための留意点、AI人材の育成、2045年のシンギュラリティに向けて今何を着手していくか、近未来のAI社会の姿等を紹介。



機械学習を支援する情報可視化技術(主催:技術委員会)

開催日:2019年11月8日(金)、会場:CSAJ会議室

参加実績:20社27名

タイトル:『機械学習を支援する情報可視化技術』

講演者:伊藤 貴之氏(お茶の水女子大学 理学部情報科学科 教授)

講演概略:情報可視化技術の定義と効果から始まり、情報可視化が機械学習に必要な良質の訓練データ作成に非常に有用であること、さらに情報可視化があらゆる分野のビジネスに活用されてきたことなど、企業との共同研究事例を用いて紹介。



第5回UXクリニック(主催:UX Tech研究会)

開催日:2019年11月12日(火)、会場:CSAJ会議室、参加実績:3社限定・6名

メンター:安藤 幸央氏(株式会社エクサ 米国Google公認デザインスプリントマスター)

企画概略:専門家との対話や助言から自社においてUXの向上に取り組む“きっかけ”や“発想・手法”を得る機会とすることを目的に、どのようなことでもUXの専門家に無償で相談できる活動として企画しているクリニックで、抽選により選定された受講企業に対し、UI/UXに関する相談はもちろん、アプリケーションの認知度向上の方法、UXの学習方法、周囲への理解を促すための情報収集・提示の必要性など、様々な観点のアドバイスを実施。

情報提供セミナー・説明会

セキュリティ

『安心・安全のソフトウェア創出社会に向けて～セキュアなソフトウェア開発に関する指針と取り組み実態～』 (共催：一般財団法人関西情報センター (KIIS)、Software ISAC)

開催日：2019年7月16日(火)、会場：松下IMPビル2階C会議室、参加実績：約50名

タイトル1：『IoT時代に潜むリスクと脆弱性管理の重要性 ～組織は脆弱性どのように向き合うべきか、静寂にはしてられない脆弱性との向き合い方～』

講演者：萩原 健太氏 (CSAJ Software ISAC リーダー/グローバルセキュリティエキスパート株式会社 事業戦略室 CSO 兼 CSRO)

講演概略：セキュアディベロップメントサイクルについて、企画から廃棄まで面倒をみるPSIRTという組織を作ることの重要性を説明。

タイトル2：『ビジネス要求から逆算するセキュリティの取り組みのご紹介』

講演者：丁 亜峰氏 (株式会社エフアンドエム 管理本部 情報セキュリティ部 課長代理)

講演概略：セキュリティ担当者の心構えとして、忍耐強く社内のセキュリティ構築を訴えることや、理想主義にならず現実的なセキュリティの提案をすること、またセキュリティを構築することによる(過度な)称賛を期待しないことなどこれまでの取り組みの中での事例なども交えて紹介。

タイトル3：『IT企業におけるセキュア開発 ～いかにして我々は取り組み始めたのか～』

講演者：松田 康司氏 (株式会社神戸デジタル・ラボ デジタルビジネス本部 セキュア開発推進・プロジェクトサポートチーム リーダー)

講演概略：リリース前の脆弱性診断では遅いので、もっと前段階の要件定義などの段階で脆弱性診断を行うようになった(シフトレフト)ことやその重要性について解説。



情報提供セミナー・説明会

セキュリティ

【第2回セキュリティ経営サロン】サイバー攻撃への備えは十分ですか？

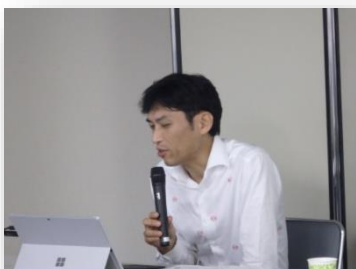
(主催：セキュリティ委員会 セミナーWG)

開催日：2019年7月19日(金)、会場：CSAJ会議室、参加実績：20社23名

タイトル：『サイバー攻撃への備えは十分ですか？』

講演者：丸山 満彦 氏 (デロイト トーマツ サイバー合同会社 最高技術責任者 (CTO))

講演概略：IoTやビッグデータがとりまく環境変化に対応するためのセキュリティ対策・リスク対策について、事例に基づき解説。ソフトウェア業界におけるセキュリティ対策の一例やサプライチェーンにおけるサイバーセキュリティ対策の考え方や参考例、課題などを紹介。



【第3回セキュリティ経営サロン】インシデント発生時のメディア対応

～その時、あなたはどうする？～ (主催：セキュリティ委員会 セミナーWG)

開催日：2019年9月10日(火)、会場：CSAJ会議室、参加実績：20社24名

タイトル：『インシデント発生時のメディア対応～その時、あなたはどうする？～』

講演者：須藤 龍也 氏 (朝日新聞社 [編集委員 (専門記者)])

講演概略：インシデント時の記者とライター取材の違いや、インシデント時のメディア対応、問題解決までの道筋の考え方、広報だけでなく経営層直轄案件にすることや、ケースによっては外部の協力を得る必要があることなど、事例や体験を交えて紹介。



情報提供セミナー・説明会

セキュリティ

【第4回セキュリティ経営サロン】経営者のためのサイバーセキュリティと法律問題～外部・内部の脅威と警察との連携～（主催：セキュリティ委員会 セミナーWG）

開催日：2019年12月13日（金）、会場：CSAJ会議室、参加実績：16社17名

タイトル1：『経営者のためのサイバーセキュリティと法律問題～外部・内部の脅威と警察との連携～』

講演者：北條 孝佳 氏（西村あさひ法律事務所 [カウンセル弁護士]）

講演概略：企業の事業継続にも関わるサイバーセキュリティ対策の重要性や正規のアクセス権限を持っている者が犯行を行う内部犯行の事例やビジネスメール詐欺の事例を紹介。また、昨今頻繁に起こるサイバーセキュリティインシデントの事前対策・事後対策の必要性について説明。

タイトル2：セキュリティ経営サロン全4回まとめ（ラップアップ）

講演者：加藤 智巳 氏（株式会社ラック理事 サイバー・グリッド・ジャパン シニアコンサルタント）

講演概略：企業の事業継続にも関わるサイバーセキュリティ対策の重要性や正規のアクセス権限を持っている者が犯行を行う内部犯行の事例やビジネスメール詐欺の事例を紹介。また、昨今頻繁に起こるサイバーセキュリティインシデントの事前対策・事後対策の必要性について説明。



地域IoT推進

IT産業を関西の地場産業にするには（主催：地域IoT推進委員会）

開催日：2019年8月26日（月）、会場：セントラファエロチャペル御堂筋、参加実績：23社47名

タイトル：IT産業を関西の地場産業にするには

講演者：大塚 公彦 氏（経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部 次世代産業・情報政策課長）

講演概略：IT産業を関西の地場産業にするために行っている施策や経営者層が意識すべき今後の課題などについて講演。



情報提供セミナー・説明会

地域 IoT 推進

【大阪開催】テクノロジーを活用した就活プラットフォームの立ち上げと運用

& 顔認証ビジネス研究会発足のご案内 (主催：地域 IoT 推進委員会)

開催日：2019年10月28日(月)

会場：さくらインターネット株式会社 大阪本社

参加実績：23社47名

タイトル1：テクノロジーを活用した 就活プラットフォームの立ち上げと運用

講演者：中野 智哉 氏 (株式会社 i-plug 代表取締役 CEO)

講演概略：累計 35 万人、5300 社に利用頂いた就活プラットフォーム OfferBox。テクノロジーをどのように活用しながら立ち上げ運用しているか、プラットフォーム戦略とテクノロジーとの関連を解説。

タイトル2：顔認証ビジネス研究会発足のご案内

講演者：高村 徳明 氏 (リアルネットワークス株式会社 APAC 副社長)

講演概略：IoT の活性化に顔認証をどのように役立てるか？またその際の課題は何かを研究し解決策をまとめる手段として、「顔認証ビジネス研究会」を上げた。日本国内に限らず先進的な海外の事例を理解し情報共有することで、地域社会のデジタルトランスフォーメーション (DX) を加速し、地域の若いエンジニアをハッカソンなど通じて能動的な提案が可能となるよう手助けする活動を目的としていることなどについて紹介。



第 1 回顔認証ビジネス研究会 (主催：顔認証ビジネス研究会)

開催日：2019年11月14日(木)

会場：【東京会場】CSAJ 会議室【大阪会場】センターフィールド株式会社 3階会議室

参加実績：【東京会場】11社16名 【大阪会場】9社12名

講演概略：主査より顔認証ビジネス研究会発足説明を行い、各会場の参加者を3グループに分けて「顔認証技術をマネタイズ(収益化)するためには？」をテーマにポジティブ面とネガティブ面についてディスカッション。



情報提供セミナー・説明会

地域 IoT 推進

【大阪開催】大阪・関西万博と 2025 年の未来ビジネス (主催：地域 IoT 推進委員会)

開催日：2019年12月2日(月)、会場：セントラファエロチャペル御堂筋、参加実績：34社54名

タイトル1：大阪・関西万博と2025年の未来ビジネス

講演者：石原 康行 氏 (経済産業省 近畿経済産業局 総務企画部次長 2025NEXT 関西 企画室長)

講演概略：2025年に大阪・関西で開催が予定されている国際博覧会(万博)の概要や進捗をご説明すると共に、過去の万博の歴史やその意味と、2025年を見据えた新たなビジネスとその発想・アイデア等々について紹介。

タイトル2：パネルディスカッション「地域のIT政策について」

パネリスト：荻原 紀男 CSAJ 会長 (株式会社豆蔵ホールディングス)

石原 康行 氏 (経済産業省 近畿経済産業局 総務企画部次長 2025NEXT 関西 企画室長)

成澤 孝 CSAJ 地域 IoT 推進委員会 関西地区主査 (株式会社クリエイション)

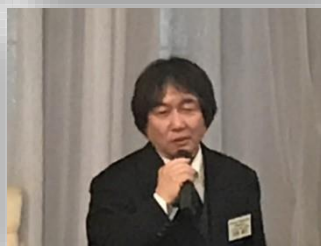
阪本 浩朗 CSAJ 地域 IoT 推進委員会 関東地区主査 (創研情報株式会社)

中村 真規 CSAJ 地域 IoT 推進委員会 北海道地区主査 (株式会社デジック)

三國 浩明 CSAJ 地域 IoT 推進委員会 北陸地区主査 (株式会社建設ドットウェブ)

モデレーター：豊田 崇克 CSAJ 地域 IoT 推進委員会委員長 (CSAJ 副会長/ネクストウェア株式会社)

概略：「地域のIT政策について」をテーマに討議。



情報提供セミナー・説明会

その他（企画）

2019 年度「高度 IT 技術を活用した創造プログラム」研修講座

（厚生労働省受託事業）

CSAJ では、厚生労働省が公募した「我が国の生産性向上のための高度 IT 技術等に関する教育訓練プログラムの開発の計画（2017 年度～2019 年度）」において、IoT・AI など第 4 次産業革命関係分野のエンジニアの学びなおしをテーマとした「労働者等のキャリア形成・生産性向上に資する教育訓練開発プロジェクト事業」を 2017 年度から 3 年事業として実施しています。

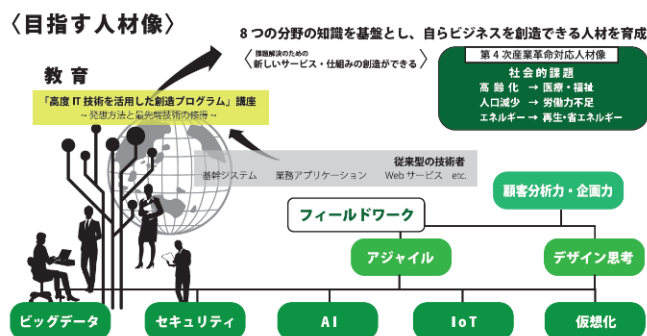
2017 年度に開発した研修プログラムについて、2018 年度は 2 回の講座を開き、計 40 名が受講、そして 2019 年度も 2 回講座を開催し、計 41 名が受講しました。

■ 講座の目的

第 4 次産業革命において必須である IoT、AI やビッグデータに代表される IT 系の技術を駆使し、新たな発想（サービス企画・デザイン思考）でビジネスを創造できる高度 IT エンジニアを育成する。

■ 講座の特徴

1. 実習や実機演習中心で体験して理解する講座
2. 各分野のプロフェッショナルが作成したカリキュラム、テキストを使用する講座
3. 実際に最先端で活動されている企業を訪れるフィールドワークを実施する講座
4. 講座のみは Web での Live 配信受講ができ自席での受講も可能
5. キャリアコンサルタントによる受講後の無料アドバイス



2019 年度第 1 回研修講座

開催期間：2019 年 7 月 2 日～9 月 27 日、会場：ウチダ人材開発センタ

参加実績：13 社 24 名

2019 年度第 2 回研修講座

開催期間：2019 年 10 月 16 日～12 月 17 日、会場：ウチダ人材開発センタ

参加実績：10 社 17 名



情報提供セミナー・説明会

その他（企画）

データを制する者がビジネスを制する時代

～DX（Digital Transformation）を支える人材開発～

（厚生労働省受託事業）

CSAJでは、厚生労働省が公募した「我が国の生産性向上のための高度 IT 技術等に関する教育訓練プログラムの開発の計画（2017年度～2019年度）」において、IoT・AIなど第4次産業革命関係分野のエンジニアの学びなおしをテーマとした「労働者等のキャリア形成・生産性向上に資する教育訓練開発プロジェクト事業」を2017年度から3年事業として実施しています。

2019年7月31日に、本事業で実施してきた研修講座の説明会及びセミナーを開催しました。

初めに、ご来賓として厚生労働省 人材開発統括官付若年者・キャリア形成支援担当参事官室 課長補佐 木下和也様より挨拶を頂戴しました。続いて、SOMPO システムズ株式会社 代表取締役社長 浦川伸一様より、同社のAI導入経験に基づく、従来のIT化との違いに関するご講演、および本事業における検討委員会委員長である早稲田大学 人間科学学術院 人間情報科学科 松居辰則教授により、本講座が狙う効果について講演いただき、最後に2019年度下期講座開催スケジュールの発表が行われました。

講演・説明会終了後の質疑応答では、多くの聴講者からの質問等があり、また下期の研修講座については、説明会終了後からお問い合わせを多くいただき、第1回講座同様、本講座への興味・関心がうかがわれました。

<次第>

タイトル：データを制する者がビジネスを制する時代

～DX（Digital Transformation）を支える人材開発～

開催日時：2019年7月31日（水）

会場：KFC Hall & Rooms KFC Hall 2nd

参加実績：44社65名

来賓挨拶：木下 和也 氏（厚生労働省 人材開発統括官付若年者・キャリア形成支援担当参事官室 課長補佐）

講演 1：「AI-Ready 企業に求められるこれからの AI×データ活用戦略」

講演者：浦川 伸一 氏（SOMPO システムズ株式会社 代表取締役社長）

講演 2：「DX でビジネスを加速させ得る人材とは」

講演者：松居 辰則 氏（早稲田大学 人間科学学術院 人間情報科学科 教授、
創造プログラム検討委員会 委員長）

講座紹介：「高度 IT 技術を活用したビジネス創造プログラム」研修講座のご紹介
笹岡 賢二郎（CSAJ 専務理事）



ニュースリリース

2019年8月19日(月)

CEATEC 2019、公式 Web サイトにて入場事前登録を開始のお知らせ

一般社団法人電子情報技術産業協会、一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会、一般社団法人コンピュータソフトウェア協会の3団体で構成するCEATEC実施協議会は、2019年10月15日(火)から18日(金)まで4日間の会期にて、幕張メッセ(千葉県美浜区)にて開催する「CEATEC 2019」の入場事前登録を、8月1日(金)よりCEATEC 2019の公式 Web サイト(<https://www.ceatec.com>)にて開始しました。

これまでの「CEATEC JAPAN」という名称をグローバルに来場者出展者が集う場として、2019年より「CEATEC」と改め、社会を変えていく原動力であるIoTなどのテクノロジーを活用した未来を発信する「Society 5.0の総合展」として開催します。幅広い産業界、国内外のスタートアップ、AI・5Gなどの新しい技術、データ利活用のための政策が集い、一企業を超えた「共創」を通じて新たな価値創出を目指すCEATEC 2019は、昨年に引き続き「つながる社会、共創する未来」(英語表記: Connecting Society, Co-Creating the Future)を開催テーマに掲げ、未来社会のデザインを広く発信します。また本年は、CEATEC全体を産業界の「オープンキャンパス」に見立て、基盤技術を支えるIT・エレクトロニクス産業やユーザー企業による課題解決の取り組みを「見て」「聴いて」「感じて」「考えて」いただく場として、Society 5.0時代を牽引するIoT人材の育成を大きな柱に掲げ、理系・文系、男女を問わず、次世代を担う学生1万人の来場を目指します。

2019年9月30日(月)

Programmer's Day~参加費無料のプログラミング1日体験イベント~

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会(以下CSAJ)プログラミング教育委員会は、2020年からはじまる小学校におけるプログラミング教育必修化を視野に、U-22プログラミング・コンテスト2019最終審査会場隣ホールにおいて、親子はもちろん学校の先生も参加可能な、無料のプログラミング体験イベント「Programmer's Day」を企画しました。

2019年10月1日(火)

通算40回目を迎えるU-22プログラミング・コンテスト2019事前審査結果を発表、40作品が一次審査へ!!

「U-22プログラミング・コンテスト」を主催するU-22プログラミング・コンテスト実行委員会は、U-22プログラミング・コンテスト2019において事前審査を通過した40作品を発表しました。

通算40回目の開催となるU-22プログラミング・コンテスト2019は、今年から他のコンテストとの併願を原則不可としたものの、406作品(参加者総数1,145名)のエントリーとなりました。また、今年度U-22プログラミング・コンテストと連携している全国小中学生プログラミング大会(JJPC)では全351作品の応募があり、両コンテストで合計757作品の応募となりました。

2019年10月10日(木)

「U-22プログラミング・コンテスト2019」入選作品発表!小学生から大学生まで全16作品が10月20日最終審査会へ

U-22プログラミング・コンテストは、この40年多くの優秀なエンジニアを輩出してきた、歴史ある若手の登竜門のコンテストです。IPA未踏事業への推薦、スタートアップ支援など、成長につながる道も用意しています。

全エントリー406作品のうち、事前審査を通過した40作品について一次審査を実施、最終審査へ進む16作品を選出し入選が決定しました。

10月20日(日)に開催される最終審査会(於:秋葉原コンベンションホール)では、制作者自らがプレゼンテーションを行い、経済産業大臣賞をはじめとする各賞が決定します。なお、最終審査会は一般聴講が可能なほか、ニコニコ生放送を予定しています。また、当日は同会場隣ホールにて「Programmer's Day~参加費無料のプログラミング1日体験イベント~」も併催されますので、是非会場へご来場のうえ、次代のエンジニアたちの雄姿をご覧ください。

ニュースリリース

2019年10月23日(水)

[【速報】U-22プログラミング・コンテスト2019、最終審査会で各賞決定！！経済産業大臣賞<総合>は中学3年生が受賞](#)

「U-22プログラミング・コンテスト」を主催するU-22プログラミング・コンテスト実行委員会(実行委員長:青野慶久 サイボウズ株式会社 代表取締役社長)は、2019年10月20日(日)秋葉原コンベンションホールで行われた最終審査会において、入選作品16作品を審査、経済産業大臣賞をはじめとする各賞を決定しました。

経済産業大臣賞<総合>には「Blawn」(制作者:上原 直人さん/所属:開成中学校)が受賞したほか、各カテゴリにおける経済産業大臣賞では「LOCUS」<プロダクト>(制作者:眞部 智也さん/所属:ECC コンピュータ専門学校)、「ブラウザ上で動作するDNCL処理系「Tetra」」<テクノロジー>(制作者:大門 巧さん/所属:東海大学)、「Capture the Elements」<アイデア>(制作者:富田 晴生さん/所属:Hope International Academy Okinawa)がそれぞれ受賞いたしました。

2019年11月8日(金)

[「PSIRT Services Framework 1.0」の日本語翻訳文書公開について ソフトウェア製品やサービスの脆弱性管理のノウハウを邦訳](#)

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会(東京都港区赤坂、会長:荻原紀男、株式会社豆蔵ホールディングス 代表取締役会長兼社長、以下「CSAJ」)は、Software ISAC(リーダー:萩原健太、グローバルセキュリティエキスパート株式会社)に参画する、サイボウズ株式会社、グローバルセキュリティエキスパート株式会社そして本作業の協力や調整支援を頂いた一般社団法人JPCERT コーディネーションセンターの3組織で実施した「PSIRT Services Framework 1.0」の日本語翻訳文書を公開しました。

2019年12月11日(水)

[U-22プログラミング・コンテスト2020開催決定!スポンサー企業募集開始](#)

U-22プログラミング・コンテスト実行委員会は、通算41回目となる「U-22プログラミング・コンテスト2020」の開催を決定しました。

2019年のコンテストでは、併願不可という新たなレギュレーションを設定、全406作品の応募から10月に秋葉原コンベンションホールで開催された最終審査会で、16作品が経済産業大臣賞をはじめとした各賞を受賞し、成功裏に終了いたしました。

このたび2020年度の開催決定をお知らせすると共に、コンテストを支える協賛企業の募集も開始しました(募集締切:2020年1月末)。協賛企業には、ランクに応じて実行委員会・審査委員会・懇親会へ参加できる権利など多数の特典があります。

2019年12月23日(月)

[CEATEC 2020 開催概要説明会【1/29 東京・1/31 大阪】開催のご案内](#)

CEATEC 2020は、2020年10月20日(火) - 23日(金) 幕張メッセにて開催いたします。

CEATECは、あらゆる産業・業種による、IoTと共創をテーマとする「Society 5.0」の実現を目指す総合展示会として、業界や規模を問わず、新規事業やオープンイノベーションに挑む、未来志向のフロントランナーが世界および日本中から一堂に会する場として開催します。

つきましては、CEATEC 2020 開催概要説明会を下記の日程で開催し、CEATECの新たな取り組みや開催概要・出展規程等の説明、ならびに関連資料の配布を行いますので、是非ご出席賜りますようお願い申し上げます。

報告書

U-22プログラミング・コンテスト 2019 実施報告書

2019 年は「待ってろ、未来。」をテーマに、10 月 20 日（日）秋葉原コンベンションホールにて最終審査会を実施、各賞を決定しました。今年から併願不可といった要件を設けたものの、406 作品（参加者総数 1,144 名）の応募から最終審査会では 16 作品を選出、盛況の中終了しました。

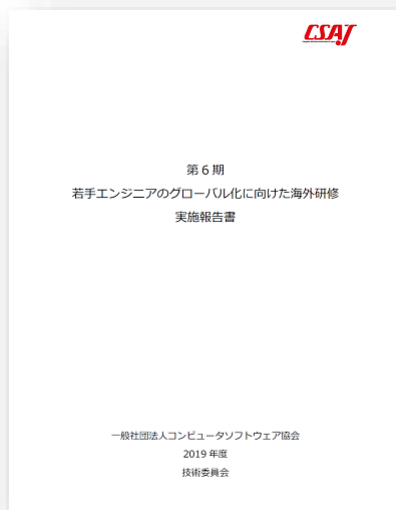
これまでは他コンテストでも受賞している作品が多かったなか、新しいレギュレーションによって、世の中の不便を便利にする作品、「好き」を追求する作品など、テーマにとらわれない創造性あふれる作品が増加しました。また、個人応募者に関してもオープンソースの中での開発・公開が当たり前のようにになっていることも特徴的でした。その中で、今回の経済産業大臣賞〈総合〉は、わずか 2 か月足らずで開発したという静的型付けコンパイル型言語「Blawn」。既存の言語の仕様や文化に囚われず、実効速度などの性能の高さもふくめた「人間にとっての扱いやすさ」を最重要視したオリジナル言語でした。その他、〈プロダクト〉にはフルスクラッチで作られたゲーム「LOCUS」、〈テクノロジー〉ではセンター試験用手順記述標準言語(DNCL)の処理系の学習教材「Tetra」、〈アイデア〉では、Scratch で作られたとは思えないユーモラスな作品「Capture the Elements」がそれぞれ受賞しました。

U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会では、上記結果を踏まえた「U-22 プログラミング・コンテスト 2019」実施報告書を取りまとめました。



第 6 期若手エンジニアのグローバル化に向けた海外研修

2019 年 10 月 26 日（土）～11 月 3 日（日）米国ロサンゼルスにて、6 回目となる「若手エンジニアのグローバル化に向けた海外研修」が実施され、研修終了後の 2019 年 11 月 22 日（金）には、研修受講者によるプレゼンテーション報告会が行われました。



実施事業

プライバシーマーク審査事業

1. プライバシーマーク審査判定委員会 (2019年4月～12月)

個人情報保護に関する学識経験者等を委員委嘱し、プライバシーマークの付与適格性審査や個人情報事故措置審議を行う第三者委員会として、計9回の委員会を開催し、付与適格決定109社（更新80社、新規26社、組織変更3社）、個人情報事故措置15件を決定致しました。

2. 2019年度プライバシーマーク審査事業実施状況 (2019年4月～12月)

	更新	新規	合計	合計値 前年度対比	入会 数	他審査機 関からの 乗換	更新辞退 /退会/ 審査機関 変更	Pマーク 実質増減数
2018年 度実績	84社	52社	136社	95.8%	66社	3社	16社	37社
2019年 度経過	108社	27社	135社	99.3%	35社	3社	27社	5社

※実績は、審査中を含む。

3. 申請様式、申請方法、審査料等

申請様式、申請方法、審査料等については、以下のURLをご参照下さい。

<https://www.csaj.jp/activity/project/pmark/index.html>

実施事業

PSQ 認証制度事業

1. 認証判定委員会 (2019年4月~12月)

ソフトウェア品質に関する規格 SQuaRE (ISO/IEC25000) シリーズの策定に携わる JTC1/SC7/WG6 等の有識者に委員委嘱を行い、評価基準である ISO/IEC25051:2014 (JIS X 25051:2016) への適合性評価の認証判定を行う第三者委員会として、2回の委員会を開催し、3件の認証判定を行いました。

2. 2019年度 PSQ-Standard 認証 (更新含む)実施状況 (2019年4月~12月)

PSQ 認証制度 (PSQ-Standard) では以下を認証 (更新含む) しました。

認証番号	申請者	製品名	バージョン	認証年月日
PSQ-Q2015003-2	ウイングアーク 1st(株)	SVF	10.0	2019年12月17日
PSQ-Q2019001	日本ナレッジ(株)	SMILE V PowerCubic	1.11	2019年6月27日
PSQ-Q2013011-1	日本ナレッジ(株)	SMILE V PowerSteel	1.11	2019年6月27日

3. 2019年度 PSQ-Lite 認証実施状況 (2019年4月~12月)

PSQ 認証制度 (PSQ-Lite) では48プロダクトを認証しました。

https://www.csaj.jp/activity/project/psq/PSQ_Lite/authlist.html

4. 各種認証説明、申請様式類、申請方法等

各種認証説明、申請様式類、申請方法等については、以下の URL をご参照下さい。

<https://www.csaj.jp/activity/project/psq/index.html>

実施事業

スタートアップ支援事業

CSAJ Startup Demo Day 5th 開催

CSAJ スタートアップ支援事業では、2019年12月5日（木）「CSAJ Startup Demo Day 5th」を、東京ミッドタウン ホール&カンファレンスにおいて開催しました。

開催日：2019年12月5日（木）13:30-18:30
会場：東京ミッドタウン タワー4F カンファレンス Room

はじめに、CSAJ スタートアップ支援事業投資委員会委員長の荻原紀男 CSAJ 会長より開会挨拶があり、引き続き、経済産業省商務情報政策局情報技術利用促進課課長 瀧島勇樹様を講師にお招きして、「デジタル、アプリカ・インド、スタートアップ」と題した基調講演が行われました。

その後は2015年から支援対象として選定された7社によるプレゼンテーション（事業紹介・提案）と質疑応答が行われました。

発表終了後は、スタートアップ企業各社の製品・サービスを実際にご覧いただくデモブースを用意した懇親会も開催され、発表後の質疑応答では確認しきれなかった製品の動作や各社のマネタイズなど、参加者からの積極的な質問に各社が対応しました。

■プログラム

●主催者挨拶	CSAJ会長 荻原 紀男（㈱豆蔵ホールディングス 代表取締役会長 兼 社長）
●基調講演	瀧島 勇樹氏（経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課長）
●発表会	各社発表 発表1 ライフログテクノロジー株式会社 発表2 株式会社プレミアムアーツ 発表3 株式会社パルソラ 発表4 株式会社toraru 発表5 キャップクラウド株式会社 発表6 株式会社円簿インターネットサービス 発表7 エブリセンスジャパン株式会社
●懇親会/デモコーナー	開会挨拶 スタートアップ支援事業運営委員会 委員長 / CSAJ 名誉会長 和田 成史（㈱オービックビジネスコンサルタント 代表取締役社長） 中締め スタートアップ支援事業運営委員 / CSAJ 副会長 田中 邦裕（さくらインターネット㈱ 代表取締役社長） デモコーナー展示企業 ・株式会社円簿インターネットサービス ・キャップクラウド株式会社 ・株式会社 toraru ・株式会社パルソラ ・FacePeer 株式会社 ・株式会社 Mealthy ・ライフログテクノロジー株式会社



ご案内

U-22 プログラミング・コンテスト 2020 スポンサー企業、応援団大募集！

https://www.csaj.jp/NEWS/activity/u22/2020_sponsors.html

U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会は、通算 41 回目となる「U-22 プログラミング・コンテスト 2020」の開催を決定しました。

2019 年のコンテストでは、併願不可という新たなレギュレーションを設定、全 406 作品の応募から 16 作品が経済産業大臣賞をはじめとした各賞を受賞し、成功裏に終了いたしました。

このたび 2020 年度の開催決定をお知らせすると共に、コンテストを支える協賛企業の募集も開始しました（募集締切：2020 年 1 月末）。協賛企業には、ランクに応じて実行委員会・審査委員会・懇親会へ参加できる権利など多数の特典があります。

日本でもいよいよ今年、小学校でプログラミング教育がスタートし、その後、中学校、高校においても段階的に「情報教育」分野の指導要領改訂が予定されています。近年そういった社会的背景も後押しに、「プログラミング」に注目が集まっています。

当コンテストはこれからの日本の未来を IT 活用して創っていく、若者を応援するコンテストです。コンテストを通じて、日本の若者を一緒にサポートしていただく企業様を広く募集していますので興味のある企業様は問合せ先に記載のある事務局までご連絡をお願いします。

▼参考：コンテストの様子

[U-22 プログラミング・コンテスト 2019 公式 Web サイト](#)

[U-22 プログラミング・コンテスト 2019 最終審査会](#) (Movie)

【スポンサーメリット抜粋】 ※ランクに応じて様々な特典があります。

内容/ランク	ダイヤモンド	プラチナ	ゴールド	シルバー	ブロンズ
金額（税抜）	500 万円	300 万円	200 万円	100 万円	50 万円
メディア・動画媒体広告ロゴ掲載	○	-	-	-	-
最終審査会表彰パネル等ロゴ掲載	○	-	-	-	-
制作物への社名掲載	ロゴ特大/社名	ロゴ大/社名	ロゴ中/社名	ロゴ小/社名	社名
U-22 メルマガ広告枠の提供	○	○	○	○	○
最終審査会懇親会への参加	5 名まで	3 名まで	2 名まで	2 名まで	1 名まで
最終審査会ノベルティ等の配布	○	○	○	○	○
実行委員会・審査委員会への参加	○	○	○	-	-
企業賞・展示の実施	○	○	○	-	-
最終審査会休憩中の CM 枠提供	○	○	○	-	-

U-22
プログラミング・コンテスト

CSAJ 活動 pickup | 2020/02/15



品質の見える化

PSQ認証制度は、世界に通用する国産ソフトウェア製品の品質を認証するしくみです。

新 PSQ 認証制度 申請製品募集中！

ソフトウェア製品品質の国際規格 ISO/IEC25051:2014 に準拠した第三者適合性評価で、貴社製品をもっとアピール！

PSQ 認証制度は、CSAJ が、国産既製ソフトウェア製品／クラウドサービスの品質の高さを世界で通用することを証明するために制定した認証制度で、国際規格である ISO / IEC 25051:2014 を評価基準として参照して構築した品質認証制度です。認証制度には自社で完結する簡易認証、ドキュメントによる第三者認証、実機検証による第三者認証まで簡易なレベルから、より高度な評価・認証までラインナップ化しております。

- ・ PSQ-Lite <簡易認証>
- ・ PSQ-Standard <評価機関によるドキュメントでの第三者認証>
- ・ PSQ-Premium <独立評価機関による実機検証での第三者認証>

<https://www.csaj.jp/activity/project/psq/index.html>



ISO/IEC 25051:2014



ISO/IEC 25051:2014

認証申請、お問い合わせ先（PSQ 認証制度、マイナンバー対応ソフトウェア認証制度）

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 PSQ 認証室

TEL:03-3560-8452(部門直通) E-mail:psq_info@csaj.jp

ソフトウェア品質保証宣言 「ソフトウェア品質向上宣言」申請企業募集中！

自社のソフト開発に対する品質への取組をアピールするなら！

CSAJ では、ソフトウェア開発企業が自社で開発目標を掲げ、高品質な製品提供ができるような基準を持って、製品出荷を実施（予定含む）する品質向上に向けた自社の活動を宣言書に基づき宣言し、取引先や見込み顧客に向けて自助努力を説明しやすくすることを目的としたソフトウェア品質向上宣言を開始しました。品質宣言条項（フォーマット）への記載と提出のみで証明ロゴマークを提供しますので Web サイト、カタログ等で積極的なアピールに活用可能です。

https://www.csaj.jp/activity/project/SW_Declare/index.html

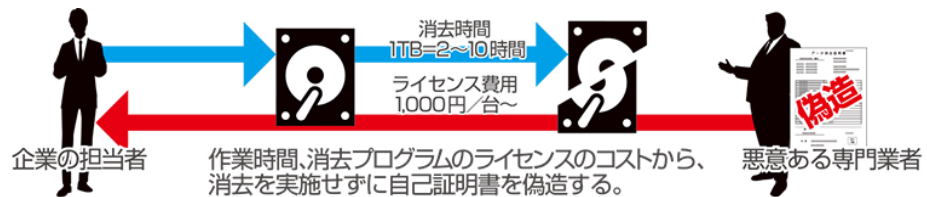


データ適正消去証明書発行事業



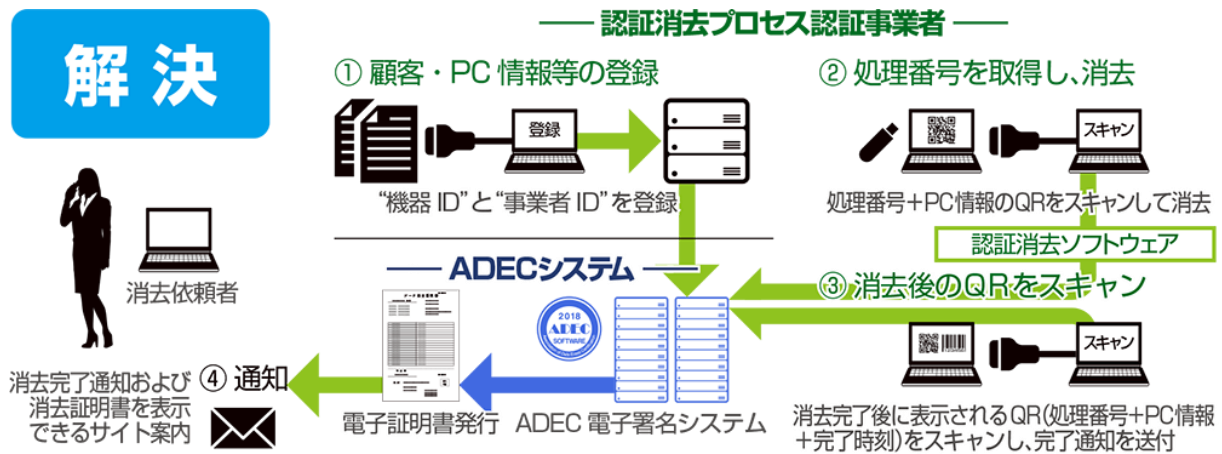
データの適正な消去のあり方を調査・研究し、その技術的な基準を策定するとともに、これに基づいてデータの適正消去が実行されたことを証明するための第三者的な証明制度の普及・啓発を図り、もって我が国における健全で安心安全な循環型 IT 社会の実現に寄与することを目的として設立された「データ適正消去実行証明協議会(略称 ADEC)」からの委託を受け、一般社団法人コンピュータソフトウェア協会では、「データ適正消去実行証明書」を発行します。一般社団法人コンピュータソフトウェア協会が、第三者として「データ適正消去実行証明書」を発行することにより、より健全で安心安全な循環型 IT 社会の実現を目指していきます。

問題



消去事業者の作業報告書(自己証明書)では、作業を実施したか確認できない。

解決



第三者が証明することで、適正な消去を行ったことが証明できる。



ADECで認証された「消去ソフトウェア」のメーカーおよび「消去サービス事業者」として認証された企業様と協力し、パソコン等のデータが適正に消去されたことを証明する「データ適正消去実行証明書」を発行します。

CSAJ 会員限定 サテライト・オフィス

CSAJ サテオ

CSAJ サテオとは？

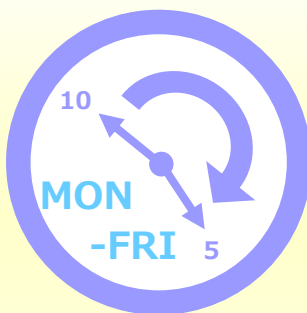
CSAJ では、会員向けに提供しているコワーキングスペース「CSAJ サテオ」を事務局内（3F）に用意しました。

フリーアドレスを意識したレイアウトで、向かい合わせのソファ席や打合せにもご利用可能な大きなデスクもご用意しております。もちろん、Free Wifi や電源もご利用いただけます！

CSAJ の「働き方改革宣言」を会員企業が実践するにあたって、コワーキングスペースを利用することで外出中の移動時間を有効に活用するだけでなく、同スペースで会員同士から生まれるコラボレーションにも期待しています。

会員の皆様のサテオご利用を心よりお待ちしております。

<利用概要>



※但し、CSAJ の営業日に準じます



※CSAJ 会員限定
※予告なく終了する可能性があります

詳細は会員専用 Web ページをご参照ください（閲覧には ID とパスワードが必要となります）

<https://www.csaj.jp/member/coworkingspace.html>



CSAJ 会員限定 CSAJ カタログラック



CSAJ では、委員会・研究会やセミナーで使用している会議室の通路壁面にカタログラックを設置、会員企業のカatalog展示用に開放しております。

CSAJ 事務局の会議室は、委員会やセミナー等が開催されており、月間延べ 200 名～300 名の往来があります。この会議室の通路壁面をカatalog展示スペースとし、会員企業各社が自由にカatalogやチラシを展示できるようにしています。

会議室への動線上にあるだけでなく、CSAJ サテオに隣接していることにより、多くの方にご利用、閲覧頂ける形になっています！

会員の皆様のご利用を心よりお待ちしております！

注意事項

- ・ラックの使用は先着順となります。
- ・同時に 2 つ以上のラックの利用はご遠慮ください。
- ・電話やメールで空き状況をご確認頂くことはできますが、予約は受け付けておりません。 予めご了承ください。
- ・展示したカatalogがすべてなくなっても事務局からはご連絡しません。補充は各社にてお願いいたします。
- ・セミナー告知等期限がある場合、期限後は速やかに撤去してください。
- ・展示期間を過ぎたものは撤去・破棄致します。予めご了承ください。



2019 年度 展示期間	
第 4 期	2020 年 1 月 1 日 ～ 2020 年 3 月 31 日
2020 年度 展示期間	
第 1 期	2020 年 4 月 1 日 ～ 2020 年 6 月 30 日
第 2 期	2020 年 7 月 1 日 ～ 2020 年 9 月 30 日

詳細は会員専用 Web ページをご参照ください (閲覧には ID とパスワードが必要となります)

https://www.csaj.jp/member/catalog_showcase.html



CSAJ 活動 Pickup

2019年7月～12月

2020年2月15日発行

CSAJ Computer Software Association of Japan
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

〒107-0052

東京都港区赤坂1-3-6

赤坂グレースビル

TEL : 03-3560-8440

FAX : 03-3560-8441

<https://www.csaj.jp/>